

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		○	地域の方々にも参加して頂ける行事が少なく、今後も取り組んでいきたい内容と考える。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングやカンファレンスを通して、理念に沿った対応・ケア内容であるか確認し合いながら取り組んでいる。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		○	ケアプラン等の説明や面会時に状態報告等説明しながら行なっているが、地域に対しては、今後もより理解して頂ける様、取り組んでいきたい内容と考える。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	入居者との散歩時、職員が1人の時でも挨拶や、声を掛け合ったりしている。また、犬や子供の散歩の途中で立ち寄りたりされる場合もあり、日常的な付き合いが出来ている。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		○	近所の方と声を掛け合ったり、立ち寄りたりされるが、地区自体で老人会等の活動があまり行われていない状態である。今後も地域活動に参加出来るように情報収集等、取り組んでいきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる		○	今後、検討を要する項目と考える。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる		○	評価結果を踏まえ、入居者へのケアやご家族との関係作りに活かしているものの、地域との関係作り等、今後更に取り組んでいきたい。また、職員への指導・教育も更に重ねていきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度の会議では、ホームから生活の様子や行事等の報告を行い、ご家族や代表者様から気付いた事・要望等を話して頂き、サービスの向上に活かしている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型サービス事業所管理者会議に参加し、指導を受けている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ご家族から相談があった場合、制度の説明や、関係者の紹介等の支援を行っている。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員間で声を掛け合ったり、毎月のカンファレンスで対応を話し合い、虐待防止に注意している。虐待防止についての勉強会も行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、管理者・計画作成担当者のご家族と面談し、契約書のないようについての説明を行う。疑問があれば説明を行い、十分に理解して頂いてから契約を締結させている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議はホーム内で行ない、入居者代表者の参加もあり、意見・不満・苦情等を表せる機会を設けている。要望等があった場合は、取り入れるよう務めている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時や電話等で健康状態・預かり金の金銭管理等の報告を行っている。また、毎月、行事写真を添えたお知らせを発行し、ご本人の状態や、ホームでの活動等の報告に務めている。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホーム玄関に苦情受付箱を設置している。面会にこられた時やケアプランの説明時などにも話しやすい雰囲気作りを心掛け、もし、苦情・意見等があれば迅速に対応するようにしている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月のカンファレンス・ミーティング時に意見を聞き取りやすい雰囲気作りを行っている。その時意外でも、申し送りノートを活用したり、直接管理者に話せるように、管理者も注意している。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>入居者の状態の変化や入居者・ご家族の要望があれば、勤務調整し、柔軟に対応できるようにしている。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>やむを得ず異動等あった場合でも、入居者が引き続き安心して生活できるように、異動してきた職員への教育を適切に行い、入居者へのダメージを防ぐよう配慮している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>全職員、段階に応じて研修を行っている。ホーム内でも全員参加して勉強会を行い、職員のケアの質の向上・育成に努めている。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設との交換研修を実施したり、広報等の交換を行い交流を持っている。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>悩み事を相談しあったり、勤務表作成時に公休希望を聞いたり、気分転換できる連休を確保する事でストレス軽減に取り組んでいる。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>知識・技術向上のため、勉強会等を行い、職員個々の資格取得の動機付けを行っている。管理者も個々の努力・実績をきちんと評価している。また、共有の資料の提供・本の購入を事業所で行っている。</p>	
<p><b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p>			
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用相談時、管理者・計画作成担当者と面談・訪問調査し、本人の希望している事、不安に思っている事を聞き取り、受け止めるよう、務めている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用相談時、管理者・計画作成担当者と面談・訪問調査し、ご家族の希望している事や不安に思っている事をきちんと聞き取り、受け止めるよう、務めている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者・計画作成担当者2名で相談を受け、必要と判断した場合、他事業所やサービスの紹介等行い対応している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	訪問調査、面談も一度だけでなく、入居に至るまでの間に何回か行い、ご家族も含め相談しながら入居できるようにしている。入居後も他入居者やホームでの生活に馴染めるように見守り、必要時には仲介も行っている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に過ごす時間を持ち、昔の習慣・生活の様子・行事等の慣わしを教えて頂いたりしている。生活の中の本人の習慣を理解して生活を共にするよう務めている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の状態を報告する等、ご家族と本人にとってより良い方法を一緒に考え、必要時アドバイスをしている。また、状態報告だけでなく、ご家族の近況やさりげない世間話を通して関係作りに務めている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人、ご家族のどちらからも過去(昔の事・入居前の様子)等を聞き、関係が継続していけるよう、必要であれば仲介役を行って支援している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や、本人の馴染みの人との面会等の会える機会を大切にし、馴染みの場所をドライブツアーのコースに取り入れるよう務めている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士の相性や、その時の状態・状況に合わせて職員が間に入り、孤立することのないように配慮したり、入居者同士の会話の仲介やトラブルなく関係を維持できるよう努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去される入居者のサービスが継続するよう、他事業所との連携をとり、信頼関係の構築の手助けに務めている。また、いつでも相談に乗れる事、お会い出来る事を伝えて、不安解消に努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の長年の習慣や、日々の生活の中からの職員の気付きを元にカンファレンスで話し合い、本人の意向・希望を確認し把握に努めている。困難な場合は、ご家族にも相談し、本人が快く感じる時を見逃さずに、意向として取り入れるよう務めている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や、ご家族からの聞き取りや、これまで利用していたサービス事業所へ確認を行ったりし、これまでの暮らし方の把握に努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の申し送りや、申し送りノートの活用、毎月のカンファレンス等で1人ひとりの現状把握、状態の変化を把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当制としているが、毎月のカンファレンスで担当の意見を元にチームとして話し合っている。本人・ご家族からの意見や要望を聞き取り取り入れ、総合的な介護計画になるようにしている。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回の定期的な見直しの他に、状態が変化した場合には、速やかにプラン変更について職員カンファレンス、本人・ご家族と話し合い現在の状況に合ったプランに変更し、実施している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録に記入・状況変化により、急な変更がある場合は申し送りノートやケアスタッフ等話し合いで処遇変更し、申し送りノートの活用で徹底させている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族からの要望があれば宿泊にも対応しており、ご家族との外出、外泊などの要望にも対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアサークルの方々にコーヒーを淹れて頂き、コーヒーをご馳走になり、会話を楽しんでいる。また、地域の桜の写真を撮影している方から説明・お話を聞いたり、施設の行事には小学生のボランティアも受け入れている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人・ご家族の意向やひつように応じて、地域の他事業所や他のケアマネジャーと相談・連携し、本人・ご家族の意向に沿った支援を行うよう務めている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加して頂き、相談・アドバイスを頂いている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・ご家族から希望を聞き取り、馴染みのかかりつけ医へ受診できるようにしている。また、必要時には文書で情報交換して医師と連携し本人やご家族が納得できる適切な医療を受けられるように務めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	見取りの指針は作成している。介護計画作成時に重度化した場合について、ご家族と今後の対応について話し合っているが、現在はホームでのターミナルを希望されている方は居ない状態であり、今後、主治医との連携を図りながら検討していきたい。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	高齢に伴うADLの低下等、様々な変化に備え、今後の対応として事業所が提供出来るサービスの説明やご家族の意向確認を行っている。受診時に主治医に相談したり、面会時等に面談したりし、チームとして対応している。
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		施設入所や在宅復帰などの住み替え時には、本人・ご家族、関係者と担当者会議等で良く話し合い、本人のダメージを最小限に防ぐよう務めている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	外出時等、本人のプライバシーを考慮し、職員も私服に近い制服にしている。また、本人の誇りを傷つけないよう、さりげない声掛けや誘導を心掛けている。個人情報に関わる書類は、所定の書庫に保管している。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者によって、方言を使用した声掛けで本人の思いや希望を話しやすい場面づくりを行っている。また、簡潔に解り易い言葉で説明し、自己決定できる場面を持つよう心掛けている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の日課に沿った声掛けに対し、拒否や気分が乗らない等の反応のある時は、本人のペースを考慮し、本人のリズムに合わせた対応が出来るよう、心掛けている。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人・ご家族と相談し、ご家族に本人の馴染みの美容室に連れて行って頂いたり、外出時(外食や行事等)には化粧をしたり、おしゃれを楽しむ機会を持っている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたいもの、旬のものを献立の中に取り入れたり、調理から片付けまでの作業を一緒に行うようにしている。入居者の得意な事、出来る事を考慮しながら、介護計画にも取り入れ、職員の見守りにて行っている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の嗜好等に合わせて代替の食事を提供したり、飲み物やおやつ等、選択できるようにしている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	本人の排泄のサインを見逃さないように配慮し、適宜に誘導を行なっている。1人ひとりの出来る所は行ってもらい、出来ない所を支援するよう、心掛けている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、体調不良・拒否等がなければ毎日行っており、その日の状態や気分等、1人ひとりのタイミングに合わせて入浴できるよう、配慮している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居者個々の生活パターンを把握し、昼夜、安心して休息・入眠出来る環境作りや、声掛け・誘導を行なっている。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者個々の得意な事、出来る事を活かせるよう、役割分担したり、張り合いや喜びを感じる事の出来る声掛けを行うよう、心掛けている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人からの訴え時には、ホームに預けてあるお小遣い(預かり金)から買物ができるよう、あらかじめ入居時に本人・ご家族に了解を取って行っている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や入居者個々の気分・状態に応じて、職員付き添いの元、散歩や買物に出掛けている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	毎月、誕生会を夕食の機会とし、全入居者、誕生者のご家族、参加を希望されるご家族と一緒に掛けている。また、地元の入居者の馴染みの神社へ参拝に出掛けてたりしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望時には、希望する方へ電話をかける支援を行ったり、希望時には、手紙のやり取りが出来るよう支援している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも訪問して頂き、くつろいで本人と過ごせる時間を持てるよう配慮している。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる		○	勉強会を行い、身体拘束について、身体拘束をしないケアの方法を学ぶ機会を持っているが、今後更に全職員の意識・知識のレベルを上げていきたい項目と考える。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関入口にブザーがあり、外に出ると鳴る仕組みになっている。また、自動ドアであるが、電源を切り、手動ドアとして使用しており、夜間の戸締り以外で施錠することなく、見守り・所在確認等で対応している。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	本人のプライバシーに十分配慮した上で、常に見守り・所在確認を行い、職員同士で声を掛け合って対応している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	取り扱いに注意を必要とする物品は、使用したら入居者が届かない所定の場所に速やかに片付け危険防止に努めている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる		○	マニュアル作成し、職員間で確認し合っているが、介護業務の経験が少ない職員が多く、更に知識を得て、スムーズに対応出来るよう今後更に取り組んでいきたい項目と考える。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている		○	マニュアル作成し、初期対応等についての勉強会や手順の確認など行っているが、今後も継続して全職員が的確で速やかな対応が出来るよう、観察力・状況判断の力・知識を得ていきたい項目と考える。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練・初期消火についての訓練を消防署立会いで行っている。また、地域への応援要請サイレンをホームに設置し応援要請した場合には協力していただけるようにしている。いつでも、管理者・計画性担当者に電話連絡が出来る状態にしており、連絡網も整備している。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時や面会時、ケアプラン説明の機会等にご家族に説明しているが、出来る限りの見守りを行い、リスクのみにとらわれず、本人らしい生活が出来るように対応策を話し合っている。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々の支援の中で、体調変化・異常の早期発見に努めており、その為の勉強会も行っている。異常に気付いた職員は、申し送りに努め、状態急変の場合には、速やかに管理者に連絡し指示を受ける等の対応に努めている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	勉強会で取り上げ、入居者ごとの使用薬の把握に努めている。処方された薬の内容をすぐ見れるところに保管し、内容理解がすぐ行いやすいようにして、症状の変化の確認に努めている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の原因、及ぼす影響等について勉強会で取り上げている。食材も工夫して繊維質のものを取り入れるようにしている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、義歯洗浄をして頂くよう声掛け・促しを行っている。出来る所は自分で行ってもらい、不十分な所、自分で出来ない所は支援している。うがいを上手く行え場合は状況に合わせて対応している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同一法人内介護老人保健施設の管理栄養士による栄養指導を受けている。食事・水分量も個別にチェックし記録している。介護計画にも取り入れご家族への説明も行っている。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルが作成されており、日頃から予防に務めている。万が一発生時には、職員間の申し送りを徹底し対応・感染拡大防止に努める事になっている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	産直などで地元食材を使用している。調理器具は毎日、消毒を行っており、食事前には消毒したお絞りを使用し、食中毒予防に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前にプランターで花植えしたり、プチトマト等の植物を植え親しみやすい環境作りを行っている。また、玄関周辺に物を置かず、開放的にするように配慮している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内の共用空間には、冬季にはコタツを設置し、季節の草花を活け、季節感を出すようにし、在宅の生活に近い雰囲気を感じて頂けるよう配慮している。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	常時ソファを設置し、冬季にはコタツも設置している。好きな場所でくつろげるよう、配慮している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の好きな写真や、これまでの作品、誕生カード等を自由に掲示し、自分の居場所として安心し、居心地良く過ごせるよう配慮している。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝の掃除時や、必要に応じて換気に努めている。温度も外気温の様子を見ながら、入居者に確認しながら調節している。冬季は、乾燥対策として、加湿器を設置している。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー構造になっていて、安全に生活出来るようになっている。本人の居室内も、本人のレベルに合わせてながら、本人の好みに配慮し環境整備を行っている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ・風呂等、共用のスペースは掲示をし、混乱しないように配慮している。常に見守り、声掛けを行い、本人が出来る限り自立した生活が送れるようにしている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関ポーチにベンチを置き、プランターの花の手入れや外の景色を眺めたり、通行する方と挨拶を交わしたりする場所として活かしている。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input checked="" type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input checked="" type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input checked="" type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご家族とのより良い関係作りとスタッフ間の更なるチームワークの構築に務めています。